

5604-0711 簡易式ロフト・ライ調整器Ⅱ

取扱説明書

ヘッドをしっかりと保持できるロフトライ調整器

2本の保持ボルトを備えたアルミ製トップクランプと、多様な形状のソールに対応可能な円錐形ソールパッドに加えて、トゥ・ストッパーを備え、ヘッドを強固に保持することが可能な簡易型のロフトライ調整器です。調整には別売りのベンディングバーが必要になります。また、測定機能については、別売りの携帯型ロフト・ライ計測器Ⅲ(#5904-0511)やジオテックヘッドスベック測定器Ⅲ(#5901-0011)等を利用することで、補う事が可能です。本体を作業台に直接固定するか、万力等で本体を挟んで固定した上で使用してください。※本説明書中の画像は、旧型の画像を使用しております。



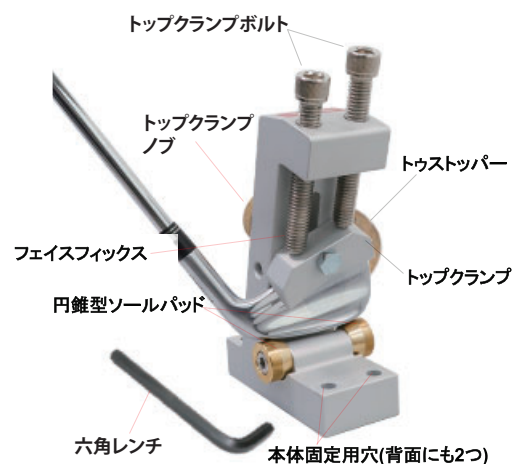
【組立】

■右用のヘッドの調整を行う場合、図1のように、トゥ・ストッパーを本体に取り付けます。左用ヘッドの場合は、逆側に取り付けます。トゥ・ストッパーの位置は、ヘッドの大きさに合わせて調整します。



図1

【各部の名称】



【設置】

■作業台等への固定では、本品に備えられた4つの固定用穴を利用します。機器の動作に支障が出ないよう、作業台の天板の厚み寸法に応じ、付属のボルトで固定できない場合は、別途お買い求めいただきます様、お願い致します。作業台にしっかりと固定された万力で本体を挟み、使用することも可能ですが、いずれの設置方法においても、作業台、万力共に重量があると、調整が容易になります。

【ロフト・ライ調整方法】

必ず、事前に調整するヘッドの材質をご確認下さい。
軟鉄、ソフトステンレスは調整可能な場合が多いですが、
表面にメッキがある場合等、調整により破損することもあります。

別売関連用品のご案内



ラチェットベンディングバー
(5601-0002)



携帯型ロフト・ライ計測器Ⅲ
(5904-0511)

【クラブの固定】

- (1) ヘッドの傷付きを防ぎたい場合は、各接触面に保護のためのテープを貼るか、厚手のビニール等に包んでから、作業して下さい。ただし、テープやビニールによる遊びが大きくなると、調整時に力が逃げやすくなりますのでご注意下さい。
- (2) ヘッドのフェイス面を本体のフェイスフィックスにぴったりと沿わせ、また、ソール面が2つの円錐型ソールパッド双方にしっかりと接するよう、注意しながら、トップクランプを徐々に下ろし、トゥ・ストッパーの位置も調整した上で、ノブを締めてヘッドを固定します。トップクランプは、さらに2本のトップクランプボルトでも、しっかりと押さえて下さい(図2)。固定時、サンドブラストのトゥ側のライン等を、ヘッドの固定位置の目安とすると、調整時に動いてしまった場合等、容易に判別できます(図3)。



図2



図3

【ロフト・ライの調整】

- (1) ベンディングバーでホーゼルをクランプし、調整しますが、ロフト、ライ、それぞれ調整する向きに注意して下さい(図4A、4B)。
- (2) 過度な調整は、ヘッド破損に繋がりますので、計測を実施しつつ、少しずつ調整して下さい。ヘッドのクランプ部分と同様、ベンディングバーとホーゼルとの間にも緩衝材を入れると、傷つきにくくなります。

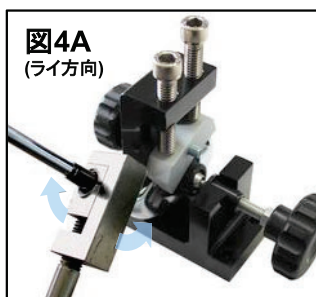


図4A
(ライ方向)

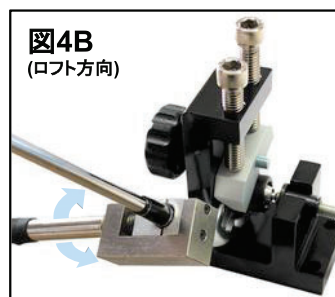


図4B
(ロフト方向)